

調査の進め方・報告書のまとめ方の項目（未定稿、2011年5月28日講義用）

1. 文献調査（サーベイ調査）
2. 現地踏査
3. ヒアリング調査
4. アンケート調査、実態調査
5. 調査委員会、計画策定委員会、中間報告
6. 報告書作成

1. 文献調査、サーベイ調査

（1）入手

誰でも見て置かなくてはならないもの

知られていない文献の探索と入手

ポイントとなる資料（ヒアリングでも、アンケートでも同じこと）を見つけたら、それをめぐって論旨を組み立てる

例：ペイエリアブランド創出調査 文献一覧 6. 報告書作成参照

ポイント文献 章立て、表（第3章 3/36）

（種類）

- ・過去の論文、報告書
- ・書籍
- ・新聞・雑誌
- ・統計書（官庁統計、団体統計 - 加盟社からの情報 -、意識調査）
- ・地図、図面、写真（画像）

（探索方法、入手場所）

- ・調査依頼先（クライアント）
- ・図書館（大学図書館、公共図書館、省庁図書館、団体図書館、OECD 東京センター図書室）
省庁図書館：厚生労働省がおすすめ（農水省、経産省、国交省、内閣府は経験済み）
- ・書店、古本屋
- ・書籍関連サイト：amazon、「日本の古本屋」等（また、ここから図書館へ）
- ・現地（地方調査、海外調査ではこれが重要）
現地でしか入手できない重要資料を見つければ調査は成功
（例：バングラ調査、淡路島たまねぎ）
- ・ウェブ
- ・ヒアリング先に教えてもらう（「その点についてまとめた資料はありませんか？」）
- ・ヒアリング相手が参照している資料を問いつめる（バングラ NGO 調査の例）

(入手方法)

- ・ 買う、もらう
- ・ 借りる(コピー、スキャンして返す)
- ・ ダウンロード
- ・ コピー、スキャン、デジカメ撮影

(資料請求)

- ・ 欲しい資料の一覧表をつくっておく(場合によっては事前に渡しておく)
例：稲城市総合計画資料一覧(別添資料)ただしこれは預かった資料一覧

(2) 読み込み、整理

- ・ 通読、拾い読み、まえがきや後ろ書きは必須
- ・ 抜き書き、箇条書き
- ・ カード化
- ・ 内容を表で整理
例：ベイエリア調査 第2章 3/26、第3章 27/36
- ・ 年表づくり

(3) データ整理 - 講義のトピックスで紹介 -

- ・ 統計解析
- ・ グラフづくり
- ・ 表の再整理

2. 現地踏査

(1) 踏査方法

- ・ 自分で回る(徒歩、自転車、自動車、電車、運転手を雇う)
- ・ 現地の人に連れていってもらおう
- ・ ヒアリングのときに、現地を見せてもらおう(地域、農地、工場、業務対象者)

(2) 写真撮影

- ・ 報告書に使う場合と単なる記録用、記念の場合
例：ベイエリア調査 第2章 5/26
- ・ 使うかどうか分からなくても取っておく(デジカメ時代)
- ・ 文献、展示物等の撮影

・ネット上にある写真も著作権があって使えない場合があるので自分で撮る（許可を得るのも大変）

（３）その他

- ・精通者やヒアリング先を見つける
- ・地元の本屋や図書館、資料館などを回る
- ・ついでに観光もする

地元で食事する（地元の人に美味しい所をきく。連れていってもらう 例：マレーシアインド料理屋）

3．ヒアリング調査

（１）ヒアリングの種類

個別ヒアリング

企業（本社、工場） 農家、市民、
行政担当者（首長、企画課（総務課） 各課、公共施設、教育委員会）

グループヒアリング

有識者ヒアリング

（２）ヒアリングの方法

アポどり（自分で電話、知悉者に依頼）

場所：先方に出掛ける、ヒアリングする場所に来てもらう

調査票の用意（特に複数人で調査する場合）

調査項目だけ

細かい聴取内容、数字、地図（農地配置）

調書への記入依頼（ヒアリングに先立って実施。 - 計画策定調査の場合 - ）

巻末「参考資料」に市町村総合計画の調書の例

権威づけ

紹介、学術目的、公共目的（市長名など）

ヒアリング先への配慮

秘密保持、おみやげ、公共目的、調査内容のフィードバック、情報提供（バーター）

通訳

すぐれた通訳ならこちらの意図を理解して自発的に聞いてくれる

高度テクニック

外で聞いたこと、前にヒアリングした相手の情報が本当か聞く

4．アンケート調査、実態調査

5 . 調査委員会、計画策定委員会、中間報告

6 . 報告書作成

(1) 論文、報告書の体裁

体裁にかかわる細かい点は小笠原 (2009) 参照

(2) 注釈、引用、参考の記載方法

・「従来型」と「近年型」(参考資料「ベイエリア調査」の例)

(3) 表で整理

・内容を表で整理

例：ベイエリア調査 第 2 章 3/26、第 3 章 3/36

・場合によっては結論を表で整理 (例：国内 NGO 調査)

【参考文献】

・小笠原喜康 (2009) 「新版 大学生のためのレポート・論文術」講談社現代新書

参考資料

総合計画各課調書の例

A．総合計画のための現況と課題調書（分野：緑地の保全と都市緑化、担当課：建設課）

【視 点】

都市化の進展により緑の減少の現況はどうか。

公共施設の緑化の現況はどうか。

緑地保全や緑化対策として何を事業として実施しているか。

緑のマスタープランの進捗状況はどうか。

B．総合計画のための事業の構想調書（分野：緑地の保全と都市緑化、担当課：建設課）

【視 点】

- ・ 緑化対策として何が考えられるか。
- ・ 緑を保存、生産するための補助あるいは固定資産税の減免についてはどうか。
- ・ 生垣の設置、樹木の植栽
- ・ 樹木の保存、保存樹木の指定
- ・ 林地の多目的利用
- ・ 公共施設、街路の緑地
- ・ コミュニティ緑化
- ・ 住民への指導、啓蒙

(「ベイエリアブランドの創出に関する調査報告書」より)

【参考資料】

1. 文献(アイウエオ順、著者名のあとのカッコは出版年)

(ア行)

- ・岩下尚史(2007)「名妓の資格 細書 - 新柳夜咄」雄山閣
- ・上村敏彦(2008)「東京 花街・粋な街」街と暮らし社

(カ行)

- ・菅野俊輔(2010)「古地図と名所図会で味わう 江戸の落語」青春出版社(新書)

(サ行)

- ・獅子文六(1965)「芝浦」(週刊朝日 1965.10 ~ 1966.1 連載のエッセイの一篇)(谷川健一編「日本の名随筆別巻 27 地名」作品社、1993年)
- ・芝浦一丁目町会(1992)「変わりゆくわが町 芝浦一丁目町会七十周年史」
- ・芝浦商店街(2000)「創立 30 周年 芝浦商店街のあゆみ」
- ・「新撰東京名所図会第三十三編」明治 35 年 1 月 25 日発行(宮尾しげを監修「東京名所図会・芝区の部」睦書房、1969年)
- ・小学館(2005)「日本語源大辞典」前田富祺監修、小学館、2005年
- ・陣内秀信(1992)「世界の都市の物語 1 2 東京」文芸春秋
- ・陣内秀信(2007)「身近な都市の水辺に夕暮れ文化を ~ 大東京、水辺空間の変遷 ~ 」(ミヅカン水の文化センター機関誌「水の文化」第 27 号、2007 年 10 月)
- ・鈴木理生(1989)「江戸の川・東京の川」日本放送協会 1978 年、再版井上書房 1989 年
- ・鈴木理生(1991)「幻の江戸百年」ちくまライブラリー-57、筑摩書房
- ・鈴木理生編著(2003)「図説江戸・東京の川と水辺の事典」柏書房

(ナ行)

- ・日本地誌研究所(1967)「日本地誌 7 東京都」二宮書店

(ハ行)

- ・原信田 実(2007)「謎解き広重「江戸百」」集英社新書
- ・平凡社大百科事典、CD-ROM《世界大百科事典 第 2 版》1998 年

(マ行)

- ・港区(2009)「第 27 回港区世論調査」(港区総合経営部部長室、港区 HP にもデータあり)
- ・港区教育委員会(1966)「海岸の歴史と風俗 港区の文化財・第 2 集」
向山勤弥「港湾」, 中村謙次「芝浦の風俗(その 1)」, 細川啓三「芝浦の風俗(その 2)」,
志水正司・俵元昭「漁業の歴史」など
- ・港区教育委員会(2006)「港区の歴史的建造物 - 港区歴史的建造物所在調査報告書」
- ・港区教育委員会(2006a)「増補写された港区 2 (高輪地区編)」
- ・港区産業・地域支援部(2009)「まち探訪ガイドブック 2009」

- ・港区芝浦港南地区総合支所（2009）「港区基本計画・芝浦港南地区版計画書」
- ・港区芝浦港南地区総合支所「芝浦港南地区情報誌：べいあっぷ」年4回発行
- ・港区立港郷土資料館「港区文化財めぐり」コース」
- ・森崎次郎（1996）「港区俳句風土記」

2 . その他

- ・芝浦商店街HP「芝浦の歴史」<http://www.shibaura-shoutenkai.com/history/index.html>
- ・港区HP（統計）<http://www.city.minato.tokyo.jp/joho/tokei/index.html>
- ・芝浦運河まつりHP <http://www.shibaura-canal.net/shusai.html>
- ・DVD「カルガモプロジェクト～カルガモの赤ちゃん誕生～」(映像：認定NPO法人海塾、企画：芝浦港南地区総合支所、制作：みなとケーブル、2009年3月)
- ・DVD「芝浦港南地区歴史探訪 “芝浦 海岸二・三丁目 港南 台場” 語り継ぐ人とまち」(港区芝浦港南地区総合支所、2008年制作)